

# 「汗っ柿君」

生徒会誌「樹」No.50 から

## 丹原高校 マスコット キャラクター 選挙

### 「汗っ柿君」

三年一組 伊東 和華那

丹原高校マスコットキャラクター選挙。私にとつて、自分の夢に近づくことができた出来事だった。

汗っ柿君を作成するまでに、たくさんの方のキャラクターを考えた。柿をモチーフにしたキ



体型 体育館前の「汗」の銅像がモチーフ  
髪型 菊花展の懸崖菊をイメージ  
ズボン 丹高生の色とりどりの個性を表現  
Tシャツ 学校の行事ごとに変わるデザイン

キャラクターや、丹高を動物にたとえたキャラクター、かわいいキャラクターなど、いろいろなアイデアにまとめて、キャラクターにするまでに、二〜三日ほどかかった。その考えた中でも、一番インパクトと丹高らしさがあったのが「汗っ柿君」だった。園芸科学科が主催している菊花展の懸崖菊をイメージした髪型に、体育館前にある汗の銅像をモチーフとしたフォルム、丹高生の明るい性格や色とりどりの個性を表したカラフルなズボン、そして、丹原高校の行事のたびに変わるTシャツ。初めは、侍をイメージしたキャラクターだった。だが丹高らしさを求めていくうちに、現在の汗っ柿君の型になった。

私が、キャラクターを作るところで、一番力を入れたのが、丹高にある園芸科学科の良さを取り入れるところと、ずっと同じではつまらないので、Tシャツのデザインを行事ごとに変えるということだ、丹高には、普通科と園芸科学科の二つの科がある。私は普通科なので、園芸科学科がどのような作業をしているのか、詳しくわからない。しかし一年に一度、普通科が園芸科学科の主催する菊花展を見学できる機会がある。私はその時見た懸崖菊の美しさと、こんなきれいな菊を作ることができる園芸科学科の生徒かすごいと尊敬の気持ちがあった。それで今回のキャラクターには、懸崖菊をどうしても取り入

れたいと思い、マスコットキャラクターを考え

た。  
次にマスコットキャラクターを作っても、いつも同じだとおもしろみにかけると思い、自分のデザインが描ける行事ごとに変えることができる、Tシャツを取り入れた。

そして、今回の選挙のプレゼンでは、かまなように発表することを心がけた。私の発表順は一番最後。きちんと思いを伝えられるのか。えらんでもらえるのだろうかという緊張感で押しつぶされそうだった。結果を聞いたときは、うれしい、という気持ちと、これから丹原高校のマスコットキャラクターとして残していく責任感があった、

現在、私が卒業するまでに様々な行事の汗っ柿君を作成している。これから考えると、中途半端に作りたくはない。心をこめて作っていくと思う。



近藤哲夫氏制作「汗」(本校OB)

体育館前に展示



